

船舶事故調査報告書

平成24年7月5日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成24年1月17日 13時00分ごろ～13時35分ごろの間）
発生場所	不明（長崎県五島市 葛 ^{かつら} 島南東方沖～葛島南方沖の間）
事故調査の経過	平成24年1月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{たか} 貴丸、0.4トン NS3-603206（漁船登録番号）、個人所有 4.68m（Lr）×1.45m×0.61m、FRP ガソリン機関、漁船法馬力数30、平成7年5月
乗組員等に関する情報	船長 男性 55歳 二級小型船舶操縦士 免許登録日 平成19年8月15日 免許証交付日 平成19年8月15日 （平成24年8月14日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、葛島南東方沖において、平成24年1月17日13時00分ごろ素潜り漁をしているところを同じく素潜り漁をしていた僚船により目撃された。 僚船は、漁場移動のために航行中、13時35分ごろ、葛島南方沖において、無人で旋回している本船を発見し、所属漁業協同組合に通報した。 本船は、僚船にえい航されて五島市奈留島夏井の船だまりに入航した。 船長は、行方不明となってから10日後の1月27日に本船が発見された場所から南南東方に約4,300m離れた奈留島相ノ浦湾の海岸でウェットスーツ姿の漂着遺体で発見された。 船長の死因は、外傷性ショック死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 2、視界 良好 海象：波向 南東、波高 10～20cm、海水温度 約16℃
その他の事項	本船は、操舵室等の甲板上の構造物がない小型漁船であった。 本船には、衝突痕が認められなかった。 本船には、素潜り漁の道具及びあわびなどの漁獲物が残されていた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 船長の死因は、外傷性ショック死であった。 本船は、13時00分ごろ、葛島南東方沖において、素潜り漁を行っているところを目撃された後、13時35分ごろ、葛島南方沖において、無人で旋回しているところを発見されたことから、この間において、素潜り漁を行った後に航行中、船長が、落水し、本船のプロペラで負傷して死亡した可能性があると考えられるが、落水及び負傷に至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が葛島南東方沖で素潜り漁を行った後に航行中、船長が、落水し、本船のプロペラで負傷したことにより発生した可能性があると考えられる。	